事例No.	3088
公表年度	R6
団体の属性	都道府県
団体名	東京都

事例区分	DX

タグ	・AI ・人材確保・育成

事例種類	事業効率化

事例内容・タイトル

東京都における生成AIの取組状況

出典

自治体におけるAIの利用に関するワーキンググループ（第1回）

東京都における生成AIの取組状況

※ヒアリング時資料等を基に事務局作成

東京都ヒアリング概要

（１） 生成AIの活用状況

項目	内容	備考
利用サービス	・Azure OpenAI Service	・令和５年８月から、Azure OpenAI Serviceを活用した文章生成AIの利用環境を展開（UIは内製）
	・Microsoft Copilot	・令和６年４月から利用
利用対象	・全職員	・若手職員だけでなく、課長代理級以上の役職者も多く利用
利用分野	・限定無し（広範な分野で活用）	・アイディア出し、文章生成、要約等

（２） 生成AIの活用による効果

○ 業務の効率化　（約60%の職員が「業務時間の短縮」を実感）
○ 業務の質の向上　（約55%の職員が「業務の質が向上」を実感）
※アンケート（令和５年10月に実施）により把握

（３）生成AIの導入・運用にあたっての工夫等

○ 短期間での導入のため、Microsoft本社への利用登録申請等を職員自身で実施
○ 情報漏洩、著作権侵害、ハルシネーション（AIが不正確な回答を出力する現象）のリスクに対応するため、**オプトアウト申請や文章生成AI利活用ガイドライン策定によるルール整備、職員向けの研修等**を実施
○ アイデアソンなどの利用拡大に向けた施策を実施

ヒアリングを踏まえたやりとり

○ **特定行政分野での活用に向け**、RAG（Retrieval-Augmented Generation、検索により拡張された生成）の利用を**検証中**
○ 特定行政分野に関するデータは、デジタルサービス局外の部署から収集する予定。どのようなデータを収集するかについては、現在検討中
○ 生成AIは外部サービスとして位置付けており、インシデント発生時の庁内への周知や、サービスの利用中止等については、**全庁的な外部サービスの利用ルールに則って対応**する想定